

2018 IMP Kart Race エンジン規定、ハンディ等変更案内

2018年からエンジン規定及びハンディの見直しを行いましたのでお知らせします。

○エンジン規定

●カデット、GT2 クラス共通項目

- ・エンジンは、メーカー出荷状態とし、改造(切削・付加等)は一切禁止します。(例:ボアアップ、ポート加工、ヘッド面研磨、排気・吸気系、電気系、その他全て)但し、年式変更に伴う純正共通部品相互の交換は認めます。
- ・エンジン構成パーツの取り付け方法、取り付け方向はメーカー出荷時の状態でなければなりません。但し、規定内のメーカー純正消耗品交換部品やスキッシュ調整ガスケットの交換は認められます。

●カデットクラス

- ・エンジンは、ヤマハ製 KT100SEC(カデット仕様のセル・クラッチ付)のみとなります。
- ・シリンダヘッドガスケットは純正の 7ET-11181-10($t=0.4\text{mm}$)のヘッドガスケット(アルミ板)を3枚以上入れ、ガスケットの総厚みが 1.2mm未満にならない事。又、キャブレターに $\phi 14.5\text{mm}$ のメーカー純正テーパージョイントキャブレター(7YU-13586-09)の装着が義務となります。

●GT2 クラス

- ・使用できるエンジンは、ヤマハ製 KT100(SD、SC、SEC、FP/SP)、PRD 製 RK100などのピストンバルブエンジンで排気量は 100cc未満です。(エンジンによりハンディがありますので詳細は、別紙 2018 IMP Kart Race 特別規則書の P19 ハンディを参照して下さい)
- ・KT100SD,SC,SEC(SS 仕様)の場合、スキッシュエリア(燃焼室圧縮比制限)の確保が規制されます。エンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所を計測し、その数値の合計が 4.5mm以上あることとします。数値が確保できない場合は、メーカー純正の 7ET-11181-10($t=0.4\text{mm}$)のヘッドガスケット(アルミ板)の他に、SLO 公認(銅製の 3 種類)調整用ガスケットのいずれかを用いて調整してください。(枚数の制限はありません)

〈指定調整用ガスケット〉

1. ヤマハ純正(7ET-11181-10)アルミ製($t=0.4\text{mm}$)
2. SLO 公認(0.05mm、0.1mm、0.2mm の 3 種類)銅製

〈使用例〉

調整用のガスケットは、指定されたものであれば枚数や組合せに制限はありません。

1. 純正のアルミガスケットのみを 1 枚か 2 枚以上入れて調整
2. 純正のアルミガスケットと SLO 公認の調整用ガスケット(3 種のいずれか)を組み合わせて調整
3. SLO 公認の調整用銅ガスケット 3 種のいずれかを組み合わせて調整

〈計測方法〉

プラグホールから $\phi 3\text{mm}$ 以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所(ドライブ側と電気側)にセットし、クランクシャフトを 1 回転させ潰れたハンダの厚みを計測します。ドライブ側と電気側の潰れたハンダ厚みの合計が 4.5mm 以上あればスキッシュエリアは合格とします。

ハンディについて

○エンジンによるハンディ

●GT2 クラス

- ・エンジン規定の GT2 クラスに合格したヤマハ製 KT100(SS 仕様)エンジンを基準とし、それ以外のエンジンに関しては、ハンディを設けます。(ハンディとして ウエイト追加、ヘッドガスケット追加、ジョイントキャブレター径変更、ギヤ比指定、ハンディタイム加算などが考えられます。)
ハンディはエンジン特性を考慮し、協議の上、決定します。

・調整ハンディ確定エンジン

- ・ヤマハ製 KT100FP/SP → ヘッドガスケット追加によりスキッシュエリアの確保(KT100SS 仕様と同様にエンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所の合計が 4.5mm 以上になるように調整)又は、ウエイト 15kg 追加のどちらか選択できる。

※スキッシュエリアの確保を選択した場合は、別紙 2018 IMP Kart Race 特別規則書の P18 エンジン規定、GT2 クラスの調整用ガスケットの説明文などをよく読んで対応をお願いします。

※ウエイトを選択した場合は、各自で用意して下さい。尚、ウエイトは数値入りのものでシートに M8 以上のボルトおよびナットで固定して下さい。

- ・PRD 製 RK100 → 純正のヘッドガスケット追加によりスキッシュエリアの確保(KT100SS 仕様と同様にエンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所の合計が 4.5 mm 以上になるように調整)又は、ウエイト 15kg 追加のどちらか選択できる。

※スキッシュエリアの確保を選択した場合は、別紙 2018 IMP Kart Race 特別規則書の P18 エンジン規定、GT2 クラスのヘッドガスケット測定方法の説明文などをよく読んで対応をお願いします。また、ガスケットは純正品を組合せて行ってください。(通常より枚数が多くなるので注意して下さい)

※ウエイトを選択した場合は、各自で用意して下さい。尚、ウエイトは数値入りのものでシートに M8 以上のボルトおよびナットで固定して下さい。

※上記のハンディは、第 1 戦目に適用となり、2 戦目以降は変更になる場合があります。尚、変更する場合は、公式通知でお知らせします。

※上記以外のエンジンハンディについてはその都度、協議の上、決定しますので問い合わせ下さい。

○連続優勝ハンディ(全クラスに適用)

- 同年度に 2 回連続して優勝したドライバー(チーム)は、次戦出場時に 4Kg のウエイトハンディを付けます。又、3 回連続優勝の場合は次戦にプラス 4Kg(合計 8Kg)、4 回連続はプラス 4Kg(合計 12Kg)…とウエイトハンディを付けます。

※連続優勝とは 2 戦(又は 3 戦、又は 4 戦)連続優勝した場合であって、間に不参加などあった場合は除きます。

※ウエイトは当方で用意しますが、固定は各自でお願いします。(レース終了時必ず返却の事)

- 当日の順位が 3 位以内の場合は、次戦のハンディは現状維持のまとし、ウエイトハンディがクリア(ハンディなし)になるのは、4 位以下になった場合のみとします。

※不明な点はレーシングコース 黒崎まで問い合わせ下さい。